

ひかり けいざいかいふく み ぎ りよてい
光の経済回復 - 御座の旅程300%

使19章1~7節 そこでパウロは言った。「ヨハネは、自分の後に来られる方、すなわちイエスを信じるよう人々に告げ、悔い改めのバプテスマを授けたのです。」(4)

Remnant は光の経済を回復するために、御座の旅程を見つけましょう。光の経済は教会と次世代を生かして、宣教できる経済のことです。いまは光の経済のための巡礼者の祈りを始めましょう。

1つ目、現のものの中の祈りは、いちばん基礎です。神様がくださった御座のやぐらをもって続けて祈りましょう。すると、御座の旅程を進むようになって、永遠の道しるべを建てるようになります。すると、力がでて残る者になり、暗闇を征服する残れる者、多くの人を残す、残す者の答えを受けます。2つ目、靈的な力を受けるために一日に一度必ず集中祈りをしましょう。イエス様も公生涯3年間、そして、復活して40日間集中されました。このように集中するとき、現場でミッショントみこころを見つけるようになります。初代教会の信徒は10日間集中してみことばの成就を見ました。挑戦することが見えれば24日って、行くべき現場の答えを見つけました。3つ目、Remnant はモーセのように幕屋中心、安息日中心に生活しましょう。ダビデは一生、神殿建築をおいて祈りました。そして、1千のやぐらを建てました。ローマ16章の人々は、教会中心に生活しました。このように、光の経済回復のために巡礼者の祈りを始めましょう。

* 三つの祭り：過越祭(救い)、仮庵祭(御座)、五旬節(聖靈)のことです。

神様、御座の旅程を見つける巡礼者の祈りが始まりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

ふっこ ひかり みち
まことの復興 - 光の道しるべ

ピリ1章12~14節 兄弟たちの大多数は、私が投獄されたことで、主にあって確信を与えられ、恐れることなく、ますます大胆にみことばを語るようになりました。(14)

Remnant にまことの復興が起こる必要があります。それでこそ、光の道しるべを建てるすることができます。光の道しるべを建てるために Remnant が祈るとき、どんなことが起こるのかを知りましょう。

1つ目、御座の働きが起ります。答えは、靈的なことが先に起こってこそ始まります。祈るとき、天の軍勢が動員されて神様の計画が成り立ちます。そして、御座が動くようになります。それゆえ、イザヤ書を見れば「終日終夜、主を休ませてはならない」と言われたのです。2つ目、神の国が臨みます。御座が私の背景になります。イエス様が祈りを教えられたとき「御国が臨みますように」と祈りなさいと言われました。祈りで神の国をあらかじめ味わいましょう。すると、あらかじめ御座の旅程を進み、あらかじめ力を受けて御座の道しるべを建てる答えを受けるようになります。3つ目、神の国のが成り立つ光の道しるべに従って行くようになります。カルバリの丘、オリーブ山、マルコの屋上の部屋、アントイオキアの道しるべを、そのとおり進むようになります。そして、パウロが現場で受けた聖靈の導きを受けます。現場で暗闇を打ちくだいて光の絶対やぐらを建てるようになります。

私がいる現場に光の道しるべを建てるように祈りましょう。

神様、私にまことの復興が起きて、光の道しるべを建てる Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

あらの もっと むずか しゅくふく
荒野で最も難しい祝福

出 25 章 1~9 節 幕屋と幕屋のすべての備品は、わたしがあなたに示す型と全く同じように造らなければならない。(9)

神様はイスラエルの民が大変な荒野の道を進むとき、幕屋を作りなさいと言われました。幕屋は*三つの祭りを味わう所です。幕屋は神殿、すなわち教会を意味します。神様はなぜ幕屋を作りなさいと言われたのでしょうか。

最初に、暗闇を完全に打ち倒すやぐらを建てる必要があるからです。イスラエルは幕屋に 24 しました。幕屋に集まって礼拝して、(会見の天幕中心) 幕屋に向かって家の方向も決めました。(天幕中心) 幕屋中心に信仰生活をしたのです。私たちも私たちの生活と、すべての中心を教会に置きましょう。2つ目、まことの力を与えようとされるのです。出エジプトするときに起こった奇跡が刻印されて、荒野の道の事件を通して神様の力が根をおろす所が幕屋です。すると、カナン征服のための体質が備えられるようになります。これがまことの力です。3つ目、偽りの答えではなく、まことの答えを分からなければならないからです。幕屋の至聖所は御座の祝福と御使いが臨む所です。その中には契約の箱がありました。この答えでなければ人は生きることはできません。聖所にはともしびとパン、油、洗盤があります。これらすべてのものは、すばらしい靈的な恵みを意味します。

幕屋の意味を知って、私が準備すべき三つの庭と御座の祝福を味わいましょう。

*三つの祭り：過越祭、五旬節、仮庵祭のことです。

*三つの庭：異邦人の庭、癒やしの庭、次世代の庭のことです。

神様、どんな状況にいても幕屋中心の生活を送る Remnant になりますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

じゅんび
レムナントと TCK の準備

ルカ 23 章 28 節 イエスは彼女たちの方を振り向いて言われた。「エルサレムの娘たち、わたしのために泣いてはいけません。むしろ自分自身と、自分の子どもたちのために泣きなさい。」

Remnant は私が一生どのように伝道して生きるのかについて確実な絵を描きましょう。三位一体の神様のみことば成就、祈りの答え、救いの働きの流れを見て、祈りのやぐらを先に作れば良いのです。すると、御座の旅程と道しるべの答えはついてきます。このように靈的サミットに先になれば、どんな答えが来るのでしょうか。

1つ目、300%の重要な答えが与えられます。まず先に祈り 300%の答えが与えられます。祈りが成り立つようになれば、Remnant の学業 300%、未来 300% の答えが来ます。神様が働きられるので、答えが与えられるしかありません。2つ目、未来に対する 300%です。Remnant はキリストという単語を正確に知りましょう。そして、金土日時代と*三つの庭を見つけて味わいましょう。これがすべて未来になります。3つ目、300%が準備されれば、方向が出て来ます。一つの場所、一つの地域、一つの国を生かすようになるでしょう。

Remnant には世界福音化の答えが与えられます。そのために器を準備するのです。そして、これからサミットになるので、姿勢を準備しましょう。最も重要なのは、サミットタイムを味わうことです。すべてのレムナントがサミットタイムを持ちましょう。

神様、私が一生どのように伝道するかを今から準備しますように。生きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

えいえん む はじ こくいん わ たいしつ 永遠に向けた始まり - いのちが刻印、根、体質に じこくひょう なる時刻表

II テモ 3 章 14~17 節 けれどもあなたは、学んで確信したところにとどまつて
いなさい。あなたは自分がだれから学んだかを知つており、また、自分が幼い
ころから聖書に親しんできたことも知つておられます。聖書はあなたに知恵を
与えて、キリスト・イエスに対する信仰による救いを受けさせることができます。
(14~15)

すべての人はキリストによらなければサタンの落とし穴、杖、罠から抜け出すこ
とはできません。キリストによって、三位一体の神様が永遠にともにいて、導
いてくださいます。すると、私の考えのとおりでなく、神様の計画のとおり歩
むことができます。これが福音です。この福音が幼い時から刻印されるように
しましょう。

1つ目、Remnant は幼い時に伝えられたことが、本人も知らない間に刻印され
ます。モーセが幼児幼稚のとき、正確な福音と祈りが刻印されました。それゆえ、
モーセがおとなになったとき、イスラエルの民を出エジプトさせることができ
りました。2つ目、パパやママや先生に質問があるかもしれません。なにかので
きごとや事件、隣の人、親戚、教会の信徒についてのささいな質問であるかも
しれません。そのとき、パパやママが答える返事を通してキリストを発見すれば
良いのです。そして、これを刻印しましょう。3つ目、葛藤が生まれるときがあ
ります。Remnant は、ほかのことに葛藤して倒れたり、試みにあう必要はありません。
神様がともにおられる神の子どもというアイデンティティを、しっかりと
たくさせる機会だからです。福音とともに CVDIP が刻印されれば、ただ、唯一性、
再創造の答えが与えられるでしょう。

Remnant はダビデのように賛美して祈つて、この答えを味わう時間を持ちまし
ょう。

神様、福音が刻印、根、体質になる Remnant の時期を送りますように。生きて
おられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン

えいえん む はじ い さいこう じこくひょう 永遠に向けた始まり - 癒やしの最高の時刻表

II テモ 3 章 14~17 節 聖書はすべて神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正
と義の訓練のために有益です。(16)

Remnant の幼い時は癒やしの最高の時刻表です。一生、生きていく基礎が作
られる時間だからです。Remnant は癒やしの時刻表に何をすれば良いのでしょうか。

1つ目、教会で御座のやぐら、旅程、道しるべを祈りで作つて、福音の力を刻印
しましょう。パウロは会堂に入つて Remnant に、なぜキリストでなければなら
ないかを教えました。そして、神の国が臨むことを体験しました。2つ目、パパや
ママに祝福の祈りをしてもらいましょう。親と教師には Remnant を祝福する
祝福権があります。モーセを幼いときに王宮に送らなければならぬモーセの
母親は、どれほど多く祈つたでしょうか。イエス様も子どもたちを呼んで、抱い
て祝福の祈りをされました。この祈りを通して靈的問題から解放されます。3つ
目、家庭でパパやママといっしょにすることがあります。家庭礼拝や食事時間に
するパパやママとのフォーラムです。時間を定めて家族新聞やニュースを作つて
みるのも良いでしょう。この時間を通して、幼いときに靈的な病気が完全に癒や
されるでしょう。そして、癒やす人として世の中に出で行くのです。

Remnant のときに福音の力を刻印して、靈的な病気が癒やされる時刻表の答えを
受けましょう。

神様、福音の力で私の基礎が作られる Remnant の時間になりますように。生
きておられるイエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン